



●開始早々から30センチ級のアジが登場



▲こちらはウルメイワシとクロムツの多点掛け



●ククンと竿先に出るアタリはなんとも楽しい



●釣れるアジはどれも丸まるとして見るとおもしろい



▲40センチ級のアジも上がった

現役漁師の船長が旬の釣り物を案内

大磯港の五平丸が遊漁船を始めたのは、先代が漁の合同にお客さんに乗せた40年以上前のこと。現在は19歳のころから同船に乗り、釣り船の予約がないときはヒラメの刺し網漁などに精を出す2代目の二宮成利船長が舵を握る。

二宮船長に5月中旬以降のおすすめをたずねると、イチ推しはなんといってもベストシーズンを迎えるアジ&サバ五目とのこと。アジは25〜30センチ級主



▲アンドンビシはポリビシのオモリ130号を使用。エサはアカタンが配られる



▲コマセはイワシミンチ

初夏はシロギスも狙い目。釣り場は港からすぐの大磯沖水深15〜20メートル。メゴチ交じりで15〜20センチ級の数釣りを楽しめる。釣った

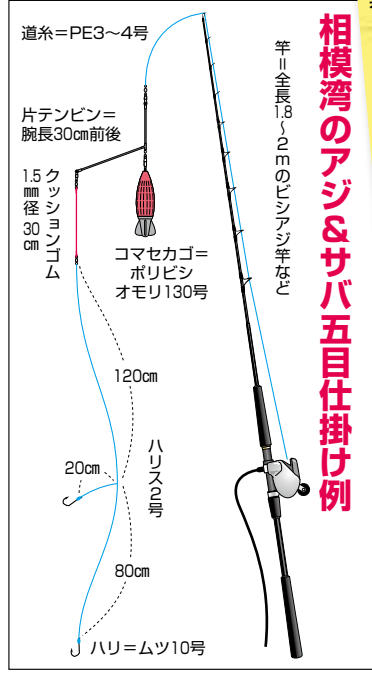
シロギスやメゴチを泳がせてメゴチを狙うのも面白く、40〜50センチ級が上がるそう。そのほかクロムツ(ムツ)五目も受け付けていて、二宮沖や茅ヶ崎沖の水深200〜300メートルを探る。メダイやクロシビカマス、ユメカサゴなども交じるので、中深海ファンにおすすめのこと。

また夏場のキハダ、カツオも予約を受け付け中。昨年

体は40センチオーバーも顔を見せ、日によって40〜50センチ級のサバが交じり、ビギナーも十分に楽しめる。釣り場は二宮沖や大磯沖の水深100メートル前後。初夏のアジは身が脂が乗り抜群に美味しいという。

マダイ五目もいい時期で、大磯沖の水深50〜100メートルを狙う。マダイは1キロ前後を中心に日によっては2〜3キロ級も顔を見せ、アジやサバなどが交じってクーラーの中にはぎやかになるという。

エサ用の小アジやイワシを釣り、泳がせ釣りで狙うヒラメやハタも上向く時期。釣り場は大磯沖の水深30〜70メートル前後で、ヒラメやハタは1〜2キロクラスが中心。ハタ類はマハタ



相模湾のアジ&サバ五目仕掛け例

超楽しかったです!
by 稲岡岳人さん

この日アジ&サバ五目に初挑戦した東京都府中市の稲岡岳人さん。当日の感想をうかがってみました。

「電動リールを使うのも初めてで、出船前は自分が釣れるとは思っていませんでした。は周りの皆さんが指導してくれたおかげでまさかの爆釣。竿先にククンとアタリがくるとなんともうれしい気分になりました。帰ってからの刺身が今から楽しみです。超楽しかったのでまた乗船したいと思います」

始めのうちは釣り方に戸惑っていた稲岡さんでしたが、飲み込みが早く、みるみる上達して良型のアジを一荷で釣り上げることも。これからは色んな釣りを楽しんでください。



今回の釣り仲間

●取材でお邪魔させていただいたのは、東京都府中市の本多淳治さんが幹事を務めるグループ。釣り物はアジ&サバ五目です。



▲当日の釣り場は大磯沖の水深100メートル前後

TARGET アジ & サバ五目

二宮成利船長に聞きました!
アジ&サバ五目のコツ

「仕掛けが着底したら、糸フケを取ってから3メートル巻き上げてコマセを2〜3回振り出し、もう1メートル巻き上げて待ちます。1〜2分待ってアタリがないようなら底に下ろして、タナを振り直します。これを2〜3回繰り返したら仕掛けを上げてコマセを詰め直してください。竿先にアタリが出たらすぐに巻き上げないで、少し待って追い食いさせるのが数をのばすコツです。アジは30〜40センチの良型主体で、抜き上げると魚の重みで口切れしやすいので、取り込みはできるだけタモを使うようにしてください」



仲間や家族と沖釣りホリデー!
Charter boat fishing with friends and family

貸し切り船 ナビ

●撮影・文/古河好夫



【第23回】
相模湾大磯港
五平丸

相模湾大磯港の五平丸は周年楽しめるアジ&サバ五目、マダイのほか、夏場はカツオやキハダ、シロギスなども得意とする船宿。ベテランの優しい船長が相模湾の沖釣りを満喫させてくれる。

●相模湾大磯港
五平丸
 GOHEIMARU
 ・Osio port, Sagami bay
 ☎0463-61-2635 ☎090-8171-5159
 (詳細は巻末の情報欄参照)



▲船は8.5トン、最大で16名まで乗船可能だが「10名までが釣りやすい」と船長



●型がいいから引き味も楽しい



▲平均サイズは25〜30センチ前後



▲釣れるアジが大きいので取り込みはタモを使ったほうが確実



●向うが釣れることには嬉しい

料金プラン
 ●平日は5名、土日祝日は8名より受付。1人8500円〜(釣り物によって料金の変動あり)。下船後に港にて精算。



▲宮成利船長

◀よく手入れされた電動リールのレンタルタックル完備



▲大磯港の入り口にはゲートがあり、入るときは右側にある緑色のボタンを押すとゲートが上がって入れる。一度入るとカードがないと出られないので注意

◀帰りは船長がこのカードを手渡してくれるので、ゲートのカード機に入るとゲートが上がる

▼車は船長に指定された場所に停める



- 利用ガイド**
- 【予約方法】電話にて日程、人数、希望の釣り物などを伝えて日取りを確保
 - 【出船時間】6〜13時半(季節によって変動あり)。沖揚がりまで最大7時間
 - 【エサ、氷、仕掛けなど】エサ付き(カツオやキハダなどは別料金)。氷、仕掛けは別料金
 - 【レンタルタックル】手巻きリールのセットは無料。電動リールのセットは1500円
 - 【集合場所】大磯港に集合。車は大磯漁協付近の指定された場所に駐車する
 - 【備考】少人数のグループで受付人数に満たない場合は電話にて応相談

《釣り物カレンダー》

釣り物	シーズン(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
アジ&サバ五目		🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟
マダイ五目		🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟
泳がせ釣りのヒラメ・ハタ五目							🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟
クロムツ五目		🐟	🐟	🐟									
シロギス							🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟
カツオ									🐟	🐟	🐟	🐟	🐟
キハダ									🐟	🐟	🐟	🐟	🐟
アマダイ		🐟	🐟	🐟								🐟	🐟

久保弘丸のココが好き!

幹事の本多淳治さんに聞きました!

船長が優しく親切で一日気持ちよく釣りが楽しめました。仲間も大満足です!

「五平丸を仕立てたのは今回が初めてです。船長が優しく親切で気持ちよく釣りが楽しめました。朝から沖揚がりまで良型のアジやサバが途切れることなく釣れ続け経験は初めてのことで、船長に感謝です。仲間も大満足でいい一日になりました。レンタルタックルの料金が安いのも幹事としてはうれしいですね。すっかり五平丸のファンになったので、またぜひ利用したいと思います」

当日は11名で乗船し、一人あたりの料金は9500円。ご協力ありがとうございました。

アジが釣れればなし! 40センチ級も登場!

五平丸を訪れたのは4月17日のこと。東京都府中市の本多淳治さんが幹事を務めるグループのこと。東京都府中市の本多淳治さんが幹事を務めるグループのこと。東京都府中市の本多淳治さんが幹事を務めるグループのこと。

がアジ&サバ五目で仕立てた船にお邪魔させていただいた。当日は6時15分に出船。20分ほど走った大磯沖の水深100メートル前後で開始となった。コマセが効き始めると次々にアタリが出て25〜30センチ級のアジやサバが取り込まれる。美味な良型のウルメイワシやクロムツも交じり開始早々から絶好調。釣れるアジはどれも丸まるとして見ると見るからにいいしそうだ。アジの食いがやや落ちたところで小移動し船長は船をアンカリングする。水深は97メートル。タナは底

から4メートルで再開。「ここは型のいいのが出るんですよ」と船長。その言葉どおりすぐに40センチ級のアジが登場。アタリは断続的に続き25〜40センチ級のアジが上がるが抜き上げによるバラシが頻発。「バラすともったいないので、取り込みはタモを使ってください」と船長がアドバイス。中盤を過ぎてアジの食いは落ちることなく続き、皆さんは実に楽しげな表情を見せる。レンタルタックルでこの日アジ&サバ五目に初挑戦した東京都府中市の稲陸さんは、「こんなに釣れると思っていなかったのでビックリです!」と言って破顔一笑。確かに開始からずっと釣れ続けている。後半に入るとサバが多くなったが、空バリで釣っていた人はコンスタントにアジをキャッチ。ハリは金バリがよく、銀色のハリにはなぜか反応しなかった。午後1時に沖揚がり時間を迎え、この日のトップは30尾以上の釣果。アジのサイズがいいだけに、皆さんのクーラーは満タンになっていた。五平丸のアジ&サバ五目は手強い釣果が魅力。良型のアジやサバを釣りたい人に超おすすめです。